

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ディーエムエス

コード番号 9782 URL <http://www.dmsip.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山本 克彦

問合せ先責任者 (役職名) 経理部部長代理

(氏名) 橋本 竜毅

TEL 03-3293-2961

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	8,242	3.6	214	58.8	185	56.5	76	92.7
23年3月期第2四半期	7,954	1.3	134	15.3	118	17.0	39	△13.3

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 89百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △0百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	13.16	—
23年3月期第2四半期	6.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	12,440	6,312	50.7
23年3月期	12,469	6,310	50.6

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 6,312百万円 23年3月期 6,310百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,500	4.7	475	9.9	410	5.3	205	18.8	35.20

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	7,262,020 株	23年3月期	7,262,020 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	1,438,491 株	23年3月期	1,438,491 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	5,823,529 株	23年3月期2Q	5,823,529 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、経済情勢、市場動向等に係わるリスクや不確実性により、実際の業績はこれら予想値と異なる結果となる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の発生以降、弱い動きを見せていた個人消費や設備投資などに改善の兆しがみられたことに加え、復興需要の増加もあり、景気は持ち直しつつあるものの、円高や海外景気減速などによる景気の下振れ懸念などがあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループ（当社および当社の子会社）に関連する広告業界におきましても、こうした環境を反映し、震災直後には販売促進企画の中止や延期といった動きにより一時的な落ち込みがあったものの、その後は回復の兆しをみせ、ほぼ前年並みの水準を維持する状況となりました。

このようななか当社は、新規顧客開拓を積極的に展開するとともに、宛名データ処理・出力やフィルムラッピングをはじめとしたマーキングサービス業務の内製化を推進し、周辺業務領域の拡大に努めてまいりました。

この結果、当四半期連結累計期間の連結売上高は、82億42百万円（前年同期比2億87百万円増）となりました。連結営業利益は、売上の増加や生産設備の操業度向上により売上総利益が前年に比べて44百万円増加したことや業務効率化により販売管理費が34百万円減少したことにより、2億14百万円（同79百万円増）となりました。連結経常利益は、営業外収益が12百万円（同1百万円減）、営業外費用が41百万円（同10百万円増）となった結果、1億85百万円（同66百万円増）となりました。連結四半期純利益は、特別損益において保有株式の評価損41百万円、さらに税金費用を65百万円としたことにより76百万円（同36百万円増）となりました。

セグメントの業績については次のとおりであります。

①ダイレクトメール部門

企画制作から情報処理、封入封緘を一括して手がけるトータルサービスと郵便やメール便のスケールメリットを活かした提案型営業を積極的に展開した結果、顧客企業における業務委託先の見直しに伴う引合い案件や震災の影響で延期されていた販促活動の再開需要を順調に取り込めたため、売上高は75億39百万円（同5.5%増）、セグメント利益は4億71百万円（同18.5%増）となりました。

②セールスプロモーション部門

各種販促支援および企画制作業務の新規受注に努めた結果、売上高は5億35百万円（同4.9%増）となりました。また、セグメント利益は増収効果と固定費の抑制が奏功して43百万円（同64.9%増）となりました。

③イベント部門

販売促進・スポーツイベントなどの運営・警備業務に注力しましたが、東日本大震災の影響により予定しておりましたイベントが中止や縮小となったことなどにより、売上高は1億44百万円（同49.6%減）、セグメント損失は2百万円（前年同期セグメント利益10百万円）となりました。

④賃貸部門

昨年12月に竣工した千代田小川町クロスタビル（東京都千代田区）のテナント契約状況は、当期に入って一部成約したものの全室の成約に至らず、売上高は14百万円（同118.1%増）、セグメント損失は14百万円（前年同期セグメント利益4百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産の状況

当四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて主に現金及び預金が3億88百万円、仕掛品が1億63百万円増加しましたが、売上債権が3億43百万円減少したことなどにより、全体として45億16百万円（前連結会計年度末比1億13百万円増）となりました。

当四半期連結会計期間末の固定資産は、投資有価証券の評価替え等による20百万円の減少や有形固定資産および無形固定資産が減価償却等の理由から1億3百万円減少したことなどにより、全体として79億7百万円（同1億40百万円減）となりました。

当四半期連結会計期間末の繰延資産は、社債発行費が16百万円（同1百万円減）となりました。

その結果、資産合計では、124億40百万円（同28百万円減）となりました。

②負債の状況

当四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて主に仕入債務が28百万円減少した一方、未払金が46百万円、未払消費税が56百万円、預り金が43百万円それぞれ増加したことなどにより、全体として29億2百万円（同1億29百万円増）となりました。

当四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて主に社債が45百万円、長期借入金が1億67百万円減少した一方、長期リース債務が16百万円増加したことなどにより、全体として32億26百万円(同1億59百万円減)となりました。

その結果、負債合計では、61億28百万円(同30百万円減)となりました。

③純資産の状況

当四半期連結会計期間末の純資産は、主に利益剰余金では連結四半期純利益76百万円から配当87百万円を差引いた10百万円が前連結会計年度末に比べて減少となりました。そのほかその他有価証券評価差額金が12百万円増加(税効果分は除く)したことにより、全体として63億12百万円(同2百万円増)となりました。

④キャッシュ・フローの状況

当四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の得られた資金は3億87百万円となりました。なお、前年同四半期連結累計期間に得られた資金は3億19百万円であります。

当四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。
(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、7億95百万円(前年同期は10億32百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1億42百万円の計上に加えて非資金項目として減価償却費2億16百万円計上や売上債権の減少3億43百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、81百万円(前年同期は3億90百万円の支出)となりました。これは主に、業務センターにおける設備投資73百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、3億25百万円(前年同期は3億23百万円の支出)となりました。これは主に、有利子負債の支払い2億32百万円(長期借入1億67百万円、短期借入20百万円、社債45百万円)、配当金の支払い86百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年10月31日発表の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,253,640	1,642,351
受取手形及び売掛金	2,420,128	2,076,275
仕掛品	242,550	406,269
立替郵送料	83,061	78,693
繰延税金資産	187,658	126,173
その他	216,276	187,306
貸倒引当金	△261	△228
流動資産合計	4,403,054	4,516,840
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,104,315	3,026,954
機械装置及び運搬具（純額）	307,390	275,580
土地	2,830,100	2,830,100
リース資産（純額）	8,047	26,064
その他（純額）	79,576	72,803
有形固定資産合計	6,329,431	6,231,502
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	394,070	373,660
投資不動産（純額）	1,043,499	1,023,513
繰延税金資産	8,500	4,020
その他	241,293	248,807
貸倒引当金	△8,184	△8,069
投資その他の資産合計	1,679,178	1,641,931
固定資産合計	8,047,484	7,907,165
繰延資産		
社債発行費	18,532	16,968
繰延資産合計	18,532	16,968
資産合計	12,469,071	12,440,975

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,606,609	1,578,039
1年内償還予定の社債	90,150	90,150
短期借入金	525,656	505,656
リース債務	6,661	7,025
未払法人税等	18,655	16,658
賞与引当金	219,555	221,984
その他	305,137	482,695
流動負債合計	2,772,426	2,902,209
固定負債		
社債	702,850	657,775
長期借入金	2,233,358	2,065,530
リース債務	4,264	20,405
退職給付引当金	344,709	351,177
役員退職慰労引当金	63,790	65,342
繰延税金負債	1,544	5,716
再評価に係る繰延税金負債	24,355	24,355
その他	11,160	35,760
固定負債合計	3,386,033	3,226,063
負債合計	6,158,460	6,128,272
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,092,601	1,092,601
資本剰余金	1,468,215	1,468,215
利益剰余金	5,168,210	5,157,551
自己株式	△582,552	△582,552
株主資本合計	7,146,473	7,135,815
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△15,446	△2,696
土地再評価差額金	△820,415	△820,415
その他の包括利益累計額合計	△835,862	△823,112
純資産合計	6,310,611	6,312,702
負債純資産合計	12,469,071	12,440,975

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	7,954,848	8,242,602
売上原価	7,137,304	7,380,484
売上総利益	817,543	862,118
販売費及び一般管理費	682,614	647,880
営業利益	134,929	214,238
営業外収益		
受取利息	409	234
受取配当金	4,779	6,325
雑収入	9,111	6,202
営業外収益合計	14,300	12,762
営業外費用		
支払利息	24,417	40,053
貸倒引当金繰入額	3,726	—
その他	2,575	1,529
営業外費用合計	30,719	41,583
経常利益	118,509	185,417
特別損失		
固定資産除却損	11,533	1,557
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	19,708	—
投資有価証券評価損	992	41,810
特別損失合計	32,234	43,367
税金等調整前四半期純利益	86,275	142,049
法人税、住民税及び事業税	3,720	3,870
法人税等調整額	42,746	61,484
法人税等合計	46,467	65,355
四半期純利益	39,807	76,694

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
四半期純利益	39,807	76,694
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40,571	12,749
その他の包括利益合計	△40,571	12,749
四半期包括利益	△764	89,444
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△764	89,444

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	86,275	142,049
減価償却費	238,254	216,888
社債発行費償却	822	1,563
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	19,708	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	12,498	6,467
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,125	1,552
賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,230	2,429
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,600	△147
受取利息及び受取配当金	△5,189	△6,559
支払利息	24,417	40,053
有形固定資産除却損	11,533	1,557
投資有価証券評価損益(△は益)	992	41,810
売上債権の増減額(△は増加)	1,180,549	343,853
たな卸資産の増減額(△は増加)	△175,657	△163,718
立替郵送料の増減額(△は増加)	96,593	4,367
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△19,600	28,480
その他の固定資産の増減額(△は増加)	2,108	787
仕入債務の増減額(△は減少)	△393,036	△28,570
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△27,565	177,205
その他	18,449	33,414
小計	1,070,649	843,483
利息及び配当金の受取額	5,189	6,559
利息の支払額	△24,869	△39,877
法人税等の支払額	△18,465	△14,868
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,032,503	795,297
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△3,933	△911
有形固定資産の取得による支出	△377,666	△73,822
貸付けによる支出	△1,000	—
貸付金の回収による収入	947	1,260
差入保証金の回収による収入	—	118
その他	△8,555	△8,555
投資活動によるキャッシュ・フロー	△390,208	△81,911

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△38,128	△5,799
短期借入金の純増減額(△は減少)	△10,000	△20,000
長期借入金の返済による支出	△124,428	△167,828
社債の償還による支出	△35,000	△45,075
配当金の支払額	△115,507	△86,884
財務活動によるキャッシュ・フロー	△323,064	△325,587
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	319,230	387,798
現金及び現金同等物の期首残高	1,312,631	1,080,849
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,631,862	1,468,647

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイレクト メール部門	セールス プロモーション部門	イベント 部門	賃貸部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,143,741	510,109	286,970	6,684	7,947,505	7,342	7,954,848
セグメント間の内部 売上高又は振替高	368	1,457	—	—	1,825	264	2,090
計	7,144,109	511,566	286,970	6,684	7,949,331	7,607	7,956,939
セグメント利益	397,838	26,433	10,683	4,165	439,121	1,501	440,622

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家電製品販売を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	439,121
「その他」の区分の利益	1,501
セグメント間取引消去	△2,090
全社費用(注)	△303,600
棚卸資産の調整額	△2
四半期連結損益計算書の営業利益	134,929

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイレクト メール部門	セールス プロモーション 部門	イベント 部門	賃貸部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,539,764	535,327	144,698	14,580	8,234,370	8,232	8,242,602
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,150	1,217	—	60	2,428	15	2,443
計	7,540,914	536,544	144,698	14,640	8,236,798	8,248	8,245,046
セグメント利益又は損 失(△)	471,425	43,584	△2,333	△14,041	498,635	1,160	499,796

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家電製品販売を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	498,635
「その他」の区分の利益	1,160
セグメント間取引消去	△2,443
全社費用(注)	△283,114
棚卸資産の調整額	—
四半期連結損益計算書の営業利益	214,238

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。